



おたより

2020年度 第5号

8月27日
桜の聖母短期大学
親と子のひろば

猛暑の中でも子どもたちのパワーは変わりません。この溢れるエネルギーを存分に発揮しながら遊べるように、親と子のひろばは準備をしていました。目を輝かせて玩具に手を伸ばし、人と心を通わせている子どもたちの夢中な目、その様子を見守るおうちの方の優しい目、そして、新入生の学生は緊張と期待で目を見開いてキョロキョロ！ その様子をお伝えします！

皆様が「親と子のひろば」の再開を心待ちにしてくださっていたそのお気持ちが嬉しくて嬉しくて、幸せ気分が3倍になりました。



大きくなったね！ こんなにおしゃべりも！

入学後、しばらく遠隔授業が続いた1年生も「親と子のひろば」の参加を待って来ていました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、学生の参加は1日6人までと決めました。真っ先に予約をした6名の1年生が、朝9時前から保育室に集まり、参加予定の子どもたちの年齢等を考えながら環境を構成していきます。子どもたちの発達は学んでいるものの、実際に触れ合っていないので、まだ実践的感覚はありません。



2日目は、1年生の中に2年生が一人いました。これまでの子どもの様子や自身の経験から、どのような視点で考えると良いのか1年生に伝え、リードしてくれています。Big&Little（先輩から後輩へ）学びの循環が生れています。

どの遊具をどう構成するか、自分たちで考えた学生は、子どもと遊びながら遊具の持つ意味を考えるようになります。

そして、いよいよ OPEN です！

ご近所の安彦染工場さまに「親と子のひろば」のロゴマークを染め、暖簾を作っていただきました。色も素材の質感もとても素敵に仕上がりました。この暖簾が OPEN の合図です。

さあ、今日は誰に会えるかな？



最初に来てくれたのは、双子のＹちゃんとＫちゃん（２歳）です。滑り台、ままごと、ミニカー・・・一通り遊んでみます。そして、椅子にも座ってみます。すべて試して、すべて遊びです。



Rくん（１歳９か月）は、１年生が手作りした遊具に興味を持ってくれました。作成した学生もドキドキワクワクしながら近くで見守り、その姿に「嬉しかった〜」と！

クーゲルバーンの周りには、Tくん（２歳４か月）Kくん（２歳）Tくん（１歳４か月）が集まっています。２歳になった子どもたちは、成長し、貸せなくなりました。それを見ていたお母さんが「うちの子、シャイアンだったことが分かりました（笑）」と。「僕の！」「ダメ！」と「自分のモノ」意識がはっきりしてきて自我が拡大してくるこの時期。ここでは、「貸してあげて」という大人はおらず「そうだね。〇〇くんだね」と、言ってもらえます。すると、

こっくりうなずき、また安心して遊びます。そして、この時期を越えると（この時期があるからこそ）、自然に貸してあげられるようになります。

近くで、今日初めて参加したＹちゃん（４か月）も大きいお兄ちゃんたちの様子はずっと見ています。子どもが遊んでいる様子を見て楽しんで何かを吸収していますね。



生き物が大好きだというHちゃん（３歳２か月）は、じっとクワガタを観察しています。怖がる様子もなく、蓋も開けて見ていました。Ｙくんは、幼稚園が夏休みになので遊びに来てくれました。当時から虫が大好きでした。知識も豊富でクワガタたちにフカフカのベッドを作ってくれました。水槽には、メダカの赤ちゃん！産卵するものの、なかなか孵化させられませんでした。いつの間にか１０匹くらいが泳いでいる姿が私の目でも確認できるようになりました。Ｙちゃん（２歳１か月）も見つけたかな？



スカーフを揺らしてわらべうたが始まると、子どもたちも自然に体を揺らします。保育室内に心地よい優しい声が、子どもたちに浸み込むように流れます。



Ｙくん(6歳)は、小さい頃から「親と子のひろば」に参加し、馴染んだ歌です。今日は、7か月の弟にスカーフを揺らしてあげています。お兄ちゃんの優しい眼差しと歌声を聞きながら、Sくんはどんな表情をしているのでしょうか。



親も子も、リラックスしてのんびり寛いでいただくと、とても嬉しいです。そのような場でありたいと思います。

学生たちの素敵なショット

このコロナ禍で、短大生活を思うように送っていない学生たちですが、感染予防に努め、自身の行動記録をつけながら体調を管理し、実習や「親と子のひろば」への貴重な参加の機会を得ようとしています。その学生たちの一生懸命な姿勢や、あふれる優しさに、私たち大人はどんなに勇気づけられることでしょう。その姿をご紹介します。



見つめ合う二人

サポートしようとしている
やさしい手



子どもの話到最后まで耳をかたむけています



まだ、話せない赤ちゃんとも「対話」する2年生



卒業生が、お子さんを連れて参加してくれています。そして、後輩でもある学生たちに、様々な話でリラックスさせてくださり、育児のことも教えてくださいます。



今後の予定

猛暑の庭には、少しでも日陰を作ろうと緑の parasol とキャンプ用タープを張ることにしました。Hくん（1年生）Tちゃん（3歳10か月）Aくん（2歳）の3きょうだいは、外遊び大好き！お母さんは、上手に見守っています。

庭の緑も勢いを増し、畑にはミニトマトやナスもなっています。今年は感染対策のためクッキング活動は自粛しています。しかし、野菜の育ち具合を見ながら、タイミングが良ければ、収穫を体験してお持ち帰りください。さらに、庭プロジェクトの学生が、子どもたちに野菜が育つ過程を五感で体験して欲しいと願って、人参・大根・ラディッシュの種も巻きましたよ。畑の様子もお楽しみに！



小学校も夏休みで遊びにきてくれた Yちゃん（1年生）と妹の Yちゃん（1歳11か月）は、暑くてもやっぱり砂遊び！ Tちゃん（2歳10か月）は、Iちゃん（4か月）と参加してくれました。Iちゃんも水に足をつけ・・・水の感触を味わっていました。



Yくん（3歳8か月）とKちゃん（4歳7か月）と一緒に、向日葵の種も植えました。「種を土の中に植える意味」が、昨年は分からなかった子どもたちも、今年は掘り返すことなく土をかけ、水をあげていました。

学生たちは、子どもたちの姿から、また、学ばせていただきました。

こんな遊びはいかがですか？

先日、保育所に勤務している卒業生が遊びに来てくれました。そして、今、保育所で子どもたちが大好きな遊びを紹介してくれました。

「製氷皿に色水（食紅を溶いた水）を入れて凍らせ、それをタライに入れて遊んでいます。氷の冷たさと溶けてくる感触も楽しめますし、溶けてくると色が混じりあって変化もあり、また楽しめるんですよ」
「また、氷の中に小さなおもちゃを入れて凍らせると、取れそうで取れなくて、溶けてくるとやっと手にすることができて満足するようです」と、子どもたちが遊んでいる様子を話してくれました。

花や葉っぱを入れて凍らせてもきれいでしょね。製氷皿がなければ、代わりに卵パックや牛乳パック等を活用してもよいですよ。



文責 奥田美由紀

今後の予定

10月 2日（金）
7日（水）
9日（金）
14日（水）
16日（金）
28日（水）
30日（金）

9月は、予約システムでのご予約、スムーズにできましたでしょうか。登録者および新規の方がまんべんなく参加できるよう、2～3回に1回の割合でご予約のご協力をお願いしています。

10月の予定は、HP および予約サイトに掲載後、ご予約を受け付けます。10月もご予約をお待ちしていま～す。



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

（代表）

